

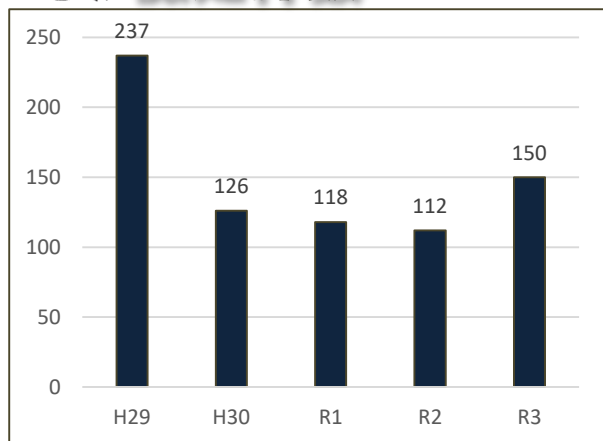
令和3年 特殊詐欺被害の発生状況



◎ 認知状況

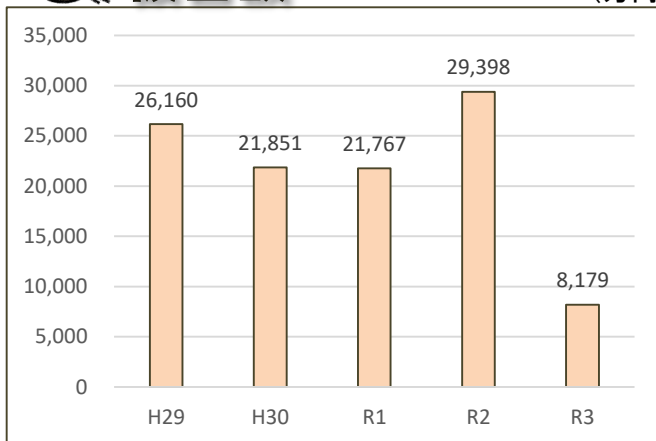


認知件数



被害額

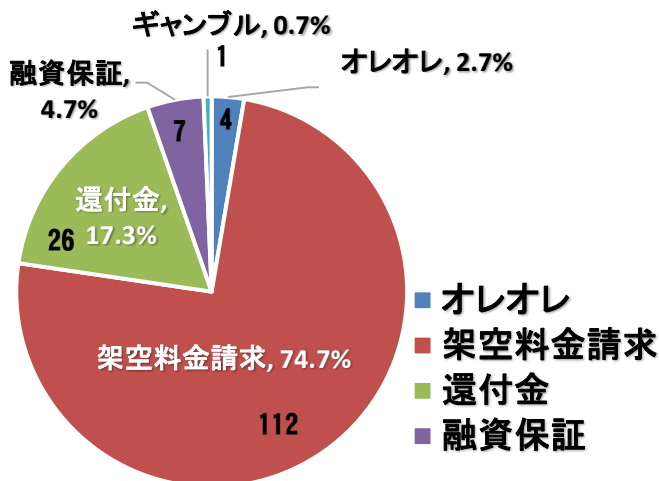
(万円)



● 令和3年中、パソコンサポート名目の詐欺や還付金詐欺が多発し被害件数が増加。被害金額は過去最少。



手口ごとの認知件数



◆令和3年中の傾向◆

- 架空料金請求詐欺が**全体の7割以上**を占める。
- 年齢別では、**高齢者が半数を占める**が、その他の世代でも幅広く被害が発生している。
- 犯人から最初の連絡手段は、**固定電話37%**、メール24%、インターネットサイト閲覧35%、はがきなど4%となっている。
- **電子マネーを騙し取られる被害が約半数**。

◆特徴1◆ 架空料金請求詐欺の中でも「サポート詐欺」が多い！

特殊詐欺被害のうち、7割(112件)を占める架空料金請求詐欺の中でも、「サポート詐欺(※手口は裏面へ)」が**45%**を占めており、その他、有料サイト料金の未払いを請求が29%、当選金等受け取り手数料名目が21%と続いています。

◆特徴2◆ 還付金詐欺が12月中に10件発生した！

還付金詐欺(※手口は裏面へ)被害26件のうち、10件が12月に発生しており、アポ電も多数確認されました。

例年、還付金詐欺は、年末(12月)と年度末(2、3月)に集中する傾向にあります。



◎ 令和3年中に多く発生した特殊詐欺の手口

サポート詐欺

サポート詐欺とは...警告音や警告表示で脅して表示されている電話番号に連絡させ、ウイルス対策やサポート対応費用などを名目に電子マネーでお金を要求する手口です。



対策

警告音や警告表示は、皆さんをだますための偽警告です。画面表示はブラウザを終了したり、電源を切ることで消えます。
このような表示が出ても、まずは落ち着いてください!
表示されている電話番号に絶対に連絡してはいけません。

還付金詐欺

還付金詐欺とは...市町村職員など公的機関を名乗り、「介護保険料や年金などの払い戻し」があるという、ATMまで誘導し、電話でATMの操作を指示してお金を振り込ませる手口です。



対策

市町村職員などがATMで還付金の手続きを案内することはありません。

お金がらみの電話は詐欺を疑いましょう。

ATMで、携帯電話で話をしながら操作をする人を見かけた時は、積極的な声かけや銀行・店舗職員への通報、警察への通報をお願いします。



ひとりで判断せず、必ず家族や警察に相談しましょう。